

山口銀行 OB の一人として、今の気持ちを伝えます

1.はじめに

私は10年以上も前に山口銀行を退職したOBです。

田原鐵之助頭取に対するクーデター以降、山口銀行の将来をいつも心配しながら見守ってきました。

福田社長から吉村社長に代わって、これからは山口FGも段々と正常化するものと期待しておりました。第一生命の保険を斡旋することで、本来はその任にふさわしい能力・見識のない者たちが経営に携わっている状況が改善されていくものと思っていました。

ところが、昨今の状況を見聞きすると、吉村会長を意図的に貶める意図はありませんが、第一生命の泥沼にどっぷりと浸かっていたのではとの思いに至りました。

2.火のない所に煙は立たないのでは

数年前から吉村会長の女性問題について、いろいろな所から耳に入っていましたが、まさか、銀行を子会社に持つ公共性がきわめて高い金融グループの長が、そのような行為をするはずがないと聞き流しておりました。

また、部下に対するパワハラまがいの言動については、銀行関係者以外の人からも聞き及ぶことがありましたが、噂には尾ひれがつきものと軽く受け流しておりました。

しかしながら、今回の内部告発等を読むと、これは実際に起こっているのでは思うようになりました。

告発文に書かれている内容は、ある意味吉村会長の名誉を毀損するものです。心あたりがないのであれば、記事の取り消しを求め、裁判に訴えるでしょう。裁判になれば真相がより明確になります。そういう事が行われていないところを見ると実際の話では思ってしまう。

3.問題点

女性問題については、プライベートに関する事として済まされるか否かが問題です。先にも述べましたが、きわめて公共性が高い金融グループのトップには、能力だけでなく高い見識と倫理観が求められるのではないのでしょうか。

また、ある山口銀行OBからの手紙に書かれていた長時間に亘って社員を拘束する「経営会議」の具体的なありようからすると、これは代表権を持った権力者による一種のハラスメントではないのでしょうか。

どこまでが真実かは当事者でないので分かりませんが、人口が減り続け、地盤沈下する経済を立て直すために、出席者がいろいろな意見を出すことで議論が伯仲して会議が長引くというのであれば、会議が長時間に及んだとしても納得感があり、出席者からの苦情となることもないように思います。おそらくそのような実のある会議ではなかったのでしょう。

4.取締役へのお願い

今の時代は貸金ではなかなか利益が出ないことから、貸金の裏付けである預金について軽く見られがちですが、預金あつての銀行の信用だと思います。

金額の割合としてはごくわずかかもしれませんが、子供達が毎年のお年玉を積み立てたお金やお年寄り達の年金など、銀行預金は多くの人たちのお金でなっています。そういう意味では銀行は株主や社員等の直接的な利害関係者だけでなく、多くの一般の人々の

山口銀行 OB の一人として、今の気持ちを伝えます

生活に関わる企業です。

今回は代表取締役に関する女性問題とパワハラまがいの行為が問題として提起されたわけですが、これは見方を変えると山口 FG のガバナンスの問題ではないでしょうか。

山口 FG は監査等委員会設置の株式会社です。監査等委員の取締役は代表取締役を含む取締役の業務執行を監督する義務を負っています。

また、業務にあたる取締役も代表取締役を含め、取締役それぞれの業務執行について牽制することが求められるはずです。

何度も同じフレーズを使って恐縮ですが、「銀行を子会社に持つ公共性がきわめて高い金融グループ」である山口 FG の取締役の方々には、今の状況をガバナンスの問題として捉えて、山口 FG のみならず地域のために、事実確認を含む公正な対応をお願いいたします。

以 上